

《専門教育科目 専門基礎科目》

科目名	保育内容（健康）				
担当者氏名	加藤 達雄				
授業方法	講義	単位・必選	2・選択	開講年次・開講期	2年・春期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力		○ 専門基礎-3 コミュニケーション能力の向上 ○ 専門基礎-4 発達の深い理解 ◎ 専門基礎-5 指導・保育の専門性			

《授業の概要》

乳幼児の心身の健康に関する内容、健康・安全であるために必要な習慣や態度に関する内容、運動発達・学習のメカニズムを含みながら子どもへの命・情緒の援助や関わり、健やかな成長と豊かな活動への援助に関する内容を総合的に学ぶ。受講生の興味関心、学習理解度、時事状況等により内容を変更する場合がある。

《授業の到達目標》

乳幼児期の発育・発達段階に即した「健康」について理解を深め、保育者として小学校とのつながりをも視野に入れた保育の内容について具体的に理解する。また、幼児が経験し、身につけるべき内容と指導上の留意点を理解し、保育場を想定した環境構成・教材・遊具等の活用や工夫、保育過程で何ができるか自ら考え、行動することを目標とする。

《成績評価の方法》

評価は、平常点 10%、提出物 45%、期末テスト 45%によって総合的に評価する。

《テキスト》

谷田貝公昭・高橋弥生編著「コンパクト版 保育内容シリーズ 健康」一藝社

《参考図書》

幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領
 授業時間中に必要に応じて紹介する。

《授業時間外学習》

毎回、その授業の内容をまとめる・次回の内容に関しての自分の経験や考えをまとめる課題を課す。それ以外でも、各自、授業内容をまとめて下さい。

《備考（教員経験の有無）》

《授業計画》

週	テーマ	学習内容
1	オリエンテーション、子どもの健康とは	オリエンテーション 子どもの健康と諸問題
2	領域「健康」について	幼稚園教育要領・保育所保育指針の内容について
3	保育計画	健康指導の計画・評価、保育行事（情報機器及び教材を用いることも含む）
4	発育発達 身体	子どもの身体発育と健康
5	発育発達 心	子どもの心の発育と健康
6	生活	子どもの生活と健康
7	基本的生活習慣	基本的生活習慣の獲得
8	基本的生活習慣	情報機器及び教材を用いた基本的生活習慣の指導・援助
9	運動あそび	0～2歳・3～6歳の発育を促す運動遊び、運動遊びの指導案作成
10	運動あそび	3～6歳の発育を促す運動遊び、運動遊びの指導案作成及び模擬保育（情報機器及び教材を用いることも含む）
11	食育	食育と子どもの健康、食育の指導案作成及び模擬保育（情報機器及び教材を用いることも含む）
12	怪我	子どもの病気とけが
13	性・いのち	性・いのちの教育、性・いのちの教育の指導案作成及び模擬保育（情報機器及び教材を用いることも含む）
14	安全	安全教育と安全管理
15	まとめ	就学までに育むこと、まとめ